

令和8年第2回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
1	8	荒井純	大綱1 障がい児・者とその家族を支える施策について (1) 障がい児・者の現状認識について ア 現在、大崎市における身体障がい者手帳，療育手帳，精神障がい者保健福祉手帳の所持者数は，年代別，性別も含めてそれぞれ何人なのか伺う イ 過去5年間の推移を比較し，どのように分析しているのか見解を伺う ウ 発達障がい，医療的ケア児など支援ニーズが多様化している現状を市はどのように認識しているのか伺う (2) 家族支援について ア 障がい児・者を支える家族の負担は決して小さくない。特に介護者の精神的，体力的負担が課題と考えるが，市の見解を伺う イ レスパイトケア事業の利用状況と課題について，市の見解を伺う ウ 保護者同士がつながり，悩みを共有できる相談支援体制の充実について，市の見解を伺う (3) 親亡き後への支援について ア 障がいのある方が保護者亡き後も地域で安心して生活するためには，住まいの確保が不可欠と考えるが，市の取組と見解を伺う イ 現在，市内のグループホームの整備状況，利用待機者数の推移と，今後の需要予測について見解を伺う ウ 福祉サービスの相談を行う際，分かりにくいという声があるが，大崎市として現在の相談体制をどのように認識し，市民への周知をどのように取り組んでいるのか伺う 大綱2 農業経営の安定化について (1) 資材高騰への認識について ア 肥料，燃油，農薬などの価格上昇が市内農業経営に与えている影響について，市はどのように把握しているのか伺う イ 農家所得への影響をどのように分析しているのか伺う (2) 米価の動向について ア 令和8年産米を含めた今後の米価動向について，市はどのような見通しを持っているのか伺う イ 米価下落時における農業者支援について，市独自の考えを伺う
2	6	富田堅治	大綱1 ふるさと納税推進事業について (1) 納税額の推移について ア 令和5年度，令和6年度の実績分析について所見を伺う イ 令和7年度から現在の取組について所見を伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
3	21	佐藤仁一郎	(2) 返礼品の選考について所見を伺う
			(3) 委託先との契約と大崎市ふるさと納税特設サイトについて
			ア 中間費用の内訳分析について所見を伺う
			イ 独自サイトの可能性について所見を伺う
			(4) 現地決済型ふるさと納税電子クーポンについて所見を伺う
			大綱2 就職促進奨学金返還支援事業について
			(1) 需要と今後の展望について
			ア 制度の告知方法と利用者の状況について所見を伺う
			イ U I J ターンで選ばれる大崎市となるための取組について所見を伺う
			大綱1 施政方針で掲げられた「人を育てる」取組における「大崎未来塾」の開設について
			(1) 第一の柱「人を育てる」取組を推進する中で、大崎未来塾の開設に向けた検討を進めるとしているが、その内容を伺う
			(2) 大崎を愛する心と、地域を主体的に担う意欲を育んでいくことが、未来につなげる大崎の土台になるとあるが、地域を主体的に担うと考える具体例を伺う
			(3) 行政とそれぞれの地域や組織をつないで、多様な機会において「人を育てる」取組を推進するとしているが、人を育てる取組の内容を伺う
			大綱2 施政方針で掲げられた「産業を育てる」取組における企業立地の推進について
			(1) 若者の地元流出を食い止めるためにも企業誘致が必要と考える。用途地域内の工業専用地域にも企業がなかなか進出しないと思われるが、その課題をどう捉えているか伺う
			(2) 民間企業との連携による工業団地の造成を検討するとしているが、その見込みと課題について伺う
4	16	法華栄喜	大綱3 施政方針で掲げられた「安心を育てる」取組における地域を守る流域治水の推進策について
			(1) グリーンインフラを活用した流域治水の取組として期待されている田んぼダムへの取組が、各地域で広がっている。令和8年度に取り組む面積とさらなる推進策を伺う
			(2) 特定都市河川に指定された多田川流域において、国や県をはじめ、流域の市町や関係団体などで構成する「巧みな水管理と共に進化する流域治水協議会」が設立され、流域全体での治水安全度の向上を目指す新たな取組がスタートした。今後は、協議会での連携を強化し、地域と対話する機会を設け、外水や内水氾濫による浸水被害の防止と軽減に向け、計画の策定を進めるとしているが、多田川流域には、高倉排水機場に流入する堅堀や、三本木排水機場に流入する長堀川があるが、この二つの堀や川の沿線の住民は、度重なる冠水被害に見舞われている。排水機場の抜本的な改良と、河川の改良を求められている。流域治水の観点からも、この協議会の協議に加えるとともに、計画の枠組みに入れるべきと考えるが、所見を伺う
			大綱1 人口減少対策と若者・子育て支援について

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
5	5	遠藤 彰	(1) 若者の意見を市政に反映する仕組みづくりについて (2) 定住促進策の現状と課題について (3) 子育て世帯の住宅支援や生活支援の現状について 大綱 2 地域自治組織運営の持続可能性について (1) まちづくり協議会等の現状と課題について (2) まちづくり協議会等に対する支援の充実について (3) 持続可能な地域運営の将来像について 大綱 3 伝統芸能の継承と文化交流の推進について (1) 獅子躍や神楽など伝統芸能の保存・継承への支援について (2) 姉妹都市との文化交流の推進について (3) 子どもたちが地域文化に触れる機会の創出について 大綱 1 酷暑から高齢者を守る包括的な熱中症対策について (1) 本市における近年の熱中症による救急搬送状況と搬送者のエアコンの使用実態について (2) 高齢者世帯に対するエアコン購入支援について (3) 熱中症予防の効果的な注意喚起と行動を促す具体策について (4) クーリングシェアの運用状況について 大綱 2 介護提供体制の確保について (1) 介護人材不足に対する現状認識と今後の具体策について (2) 外国人介護人材の採用に対する支援状況と今後の対応について (3) 令和8年度期中改定における介護職員等処遇改善加算の申請状況と課題について
6	18	石田 政博	大綱 1 施政方針の所信について (1) 大崎未来塾の構想について ア 概要として、対象・人数・内容等について市長の現在の想定を伺う イ 大崎未来塾生の修了後の処遇なども構想にあるのか伺う (2) 陸羽東線の利活用促進について ア 1日当たりの平均通過人数1,000人について、協議会のプロモーションのほかに鉄路を活用した事業の具体案を伺う イ 従来の団体利用の補助金の活用促進のほかに、大崎未来塾生の移動手段として活用してはどうか、所見を伺う (3) 地域自治組織の支援と市民協働の推進について

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
7	3	平野洋子	ア 持続可能なまちづくりのパートナーシップ会議を設置し新たな仕組みづくりについて伺う
			イ 財政支援の今後について伺う
			ウ 伴走支援の進捗を伺う
			(4) 若者の地元への就業のための奨学金返還支援制度について
			ア 現在の実績について伺う
			イ 今後の制度活用推進策について伺う
			(5) 観光振興について
			ア 鳴子温泉郷を中心とする観光業との伴走支援について伺う
			イ 周辺旧町との連携策があれば伺う
			ウ 宿泊税の活用案について伺う
			エ 分配方針はどのようなになっているか伺う
			(6) 子育て環境整備について
			ア 学校・公園の遊具整備の遅れ解消策を伺う
			イ チェック表を作成し管理してはどうか伺う
			大綱 1 合併20年を迎えた市民意識と地域の個性を生かしたまちづくりについて
			(1) 合併20年を迎えた現在の市民意識をどのように認識しているかを伺う
			(2) それぞれの地域が持つ個性や特色をどのように捉えているかを伺う
			(3) 地域の個性を生かしながら、市民が大崎市への誇りや愛着を持てるまちづくりをどのように進めていく考えかを伺う
			大綱 2 方言や食文化を始めとする地域文化の継承について
			(1) 方言や食文化をはじめとする地域文化をどのような地域資源として認識しているかを伺う
			(2) 方言や食文化を次世代へ継承していくことについてどのように考えているかを伺う
			(3) 地域文化の継承を、市民の郷土愛や地域への誇りにつなげていく考えはあるのかを伺う
			大綱 3 「大崎」という地域名の価値向上と魅力発信について
			(1) 大崎という地域名の認知度についてどのように認識しているかを伺う
			(2) 世界農業遺産をはじめとする本市の魅力や特色を市内外にどのように発信していくのか考えを伺う
			大綱 4 移住者・定住者の視点を生かした地域づくりについて

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
8	27	伊勢健一	(1) 就職や結婚等を機に移住し、現在定住している方々の実態や人数を把握しているかを伺う (2) 移住者・定住者の声を聞く機会や仕組みはあるのかを伺う (3) 移住者・定住者が感じる地域の魅力や課題を地域づくりに生かしていく考えはあるのかを伺う 大綱 1 鳥獣被害対策について (1) クマ対策について ア クマの出没及び捕獲状況について所見を伺う イ 市内における緊急銃猟について所見を伺う ウ 令和 8 年度の対策状況について所見を伺う (2) イノシシ対策について ア イノシシ被害の現況と、ジビエ施設の稼働状況について所見を伺う 大綱 2 大崎市産食材の輸出の現状と今後の展開について (1) 輸出の現状について ア 大崎市産米や仙台牛などの輸出の現状について所見を伺う (2) 輸出の今後の展開について ア 大崎市産食材の輸出について今後の展開をどのように考えているのか所見を伺う
9	12	小嶋匡晴	大綱 1 宮城県宿泊税について (1) 宮城県宿泊税の導入後の状況について ア 導入から約 5 か月が経過した現時点で、市長は宿泊税制度をどのように評価しているか イ 観光産業への影響及び宿泊者の負担増について、市が把握している実態（宿泊事業者からの声、宿泊動向の変化等）を伺う (2) 大崎圏域における観光振興施策の活用について ア 宮城県より示された令和 8 年度宿泊税充当事業について、市長はどのように評価しているか イ 宿泊税市町村交付金について、本市はどのような事業を申請・想定しているか。また、交付スキームの性質上、申請内容の優劣によって交付額に差が生じる可能性があるが、本市として確保を見込む交付額の規模感はどの程度か 大綱 2 施政方針について (1) 行財政改革と将来世代への負担について ア 最重要課題と位置づけた持続可能な財政構造への転換と具体的な行財政改革の工程表や数値目標について伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
10	2	五島啓太	イ 義務的経費増大への対応策と未来への投資とのバランスをどう図るのかを伺う
			(2) ツキノワグマ対策と市民の安全確保について
			ア 本年5月の緊急銃猟初実施を踏まえ、今後の出没防止策（放任果樹伐採等）の実施計画と予算規模、関係機関との情報共有体制の具体的な強化策を伺う
			(3) 観光振興について
			ア 地域と一体となった観光地域づくりの体制構築に向けた具体的内容とどのようなロードマップを描いているのか伺う
			イ 源泉管理の計画や体制づくりの計画策定の完了時期と開始時期の具体的なロードプランについて伺う
			ウ 掲げた観光振興施策全体の予算規模と今後の具体的な財源確保策について伺う
			大綱 1 子どもたちの遊び場確保と公共施設の有効活用について
			(1) 移動型室内遊び場の各地域への展開について所見を伺う
			(2) 廃校資産を活用した子ども向け屋内施設の整備について所見を伺う
			大綱 2 動物愛護の推進と市民協働について
			(1) 不妊・去勢手術の実施を促す少額支援の仕組みづくりについて所見を伺う
			(2) ふるさと納税を活用した資金調達と要望書への進捗について所見を伺う
			大綱 3 ジビエ事業の市民周知と発信強化について
			(1) 令和7年度の事業成果と市民周知における課題について所見を伺う
			(2) 令和8年度の目標と市内外へ向けた今後のビジョンについて所見を伺う
11	24	遊佐辰雄	大綱 4 公式LINEを活用した防災体制の強化と登録者数の拡大について
			(1) これまでの取組とクマアラート等にみる公式LINEのメリットについて所見を伺う
			(2) 公式LINEの今後の進め方と登録者数の拡大について所見を伺う
			大綱 1 介護保険法改定案の影響について
			(1) 訪問介護体制の危機について
			ア 中山間地や人口減少地域で本市も特定地域サービスの対象になるのか伺う
			イ 第10期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画について
			大綱 2 鳴子温泉の観光振興について
			(1) 観光客の大幅増加対策について
			ア PR活動の展開について
			イ 宿泊税の活用の考えについて

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
12	26	木内知子	ウ 国民保養温泉地としての活性化対策の考えについて
			エ 鳴子温泉駅のエレベーターの設置について
			大綱 3 鳥獣被害対策について
			(1) クマ・イノシシなどの被害根絶と住民を守る万全の対策について
			ア 個体数の大幅削減対策について
			イ 放任果樹伐採事業の拡大について
			ウ 実施隊員等への報酬引上げ、捕獲に対する助成金、電気柵等への補助金の引上げについて
			エ 捕獲報酬や実施隊員等への日当の支払いについて
			大綱 1 中学校の給食費無償化実現に向けて
			(1) 物価高騰に伴う子育て世帯支援として市が実施に取り組むことについて
13	14	山田匡身	(2) 国に実現を求めることについて
			大綱 2 補聴器購入助成制度を含む「聴こえくっきり事業」の推進について
			(1) 難聴の早期発見，早期対応のために聞き取りの場を増やすことについて
			(2) 補聴器購入助成制度を創設することについて
			大綱 3 松山公民館のエレベーター設置について
			(1) 行財政運営改革での施設整備における優先順位について
			(2) 実施計画について
			大綱 4 鹿島台公民館の建て替えについて
			(1) 行財政運営改革での位置づけについて
			大綱 1 「未来につなげる大崎を」の実現に向けた取組について
			(1) 「「心」開いて語り合う，「心」をつなぐ市政運営」を掲げる市長として，市民との対話を今後どのように進めていくのか伺う
			(2) 「未来につなげる大崎を」という公約にはどのような思いが込められているのか。また，大崎市の将来像について伺う
			大綱 2 関係人口の創出・拡大について
			(1) 関係人口の創出・拡大に向けた本市の考え方について伺う
			(2) ふるさと住民登録制度モデル事業の取組について伺う
			(3) 関係人口を増やすための受入れ環境や参加しやすい仕組みづくりについて伺う
			大綱 3 地域医療提供体制の持続的な展開について
			(1) 地域医療を守るため，分院や診療所の今後の運営の在り方について伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
14	15	加川康子	(2) 市民に身近な病院づくりとして、市民公開講座の再開について伺う 大綱 1 人口減少社会における持続可能な市政運営について (1) 人口減少社会への移行が進む中、本市では第3次大崎市総合計画をはじめ各種計画が更新時期を迎えている。施政方針において、「人を育てる」「産業を育てる」「安心を育てる」を基本方針として掲げるとともに、「将来世代に過度な負担を残さない持続可能な財政構造への転換」を最重要課題の一つとしている。そこで、人口減少社会における本市の将来像と、その実現に向けた市政運営の考え方について伺う ア 施政方針に掲げる「人を育てる」「産業を育てる」「安心を育てる」を通じて、本市はどのような将来像の実現を目指しているのか イ その将来像の実現に向けて、本市はどのような課題があると認識しているのか ウ 目指す将来像の実現に向けて、本市はどのような考え方で施策の継続・見直し・新規実施を判断し、政策の優先順位や資源配分を行っていくのか 大綱 2 住み続けたい、帰ってきたいと思える大崎について (1) 本市では転出超過が続いており、特に若年層や女性の流出が課題となっている。施政方針において、若い世代の呼び込みや地元就業の促進、若者が地元で働ける環境づくりを掲げている。そこで、住み続けたい、帰ってきたいと思える大崎の実現に向けた課題認識と、現在策定中の第3次産業振興計画への反映について伺う ア 若年層や女性の転出超過について、本市はどのような要因があると分析しているのか イ 地域に定着し、あるいは将来Uターンするためには、どのような産業や雇用環境、働き方の選択肢が必要と考えているのか。特に、若い世代や女性にとって必要な環境をどのように認識しているのか ウ 現行の第2次産業振興計画においては、女性の就業継続やワークライフバランスの推進などが位置づけられている。これまでの取組について、どのような成果と課題があったと評価しているのか。また、若年層や女性の転出超過が続いている現状を踏まえ、その評価を現在策定中の第3次産業振興計画にどのように反映していく考えか
15	10	結城豊	大綱 1 今後の公共交通見直しについて (1) 見直しの基本方針について 大綱 2 鉾害対策事業でつくられた、揚水施設の一部破損への大崎市の対応について (1) 法律上、施設の所有権者は大崎市でないのか (2) 応急対策と復旧対策について 大綱 3 三本木県有地の利活用について (1) 国の防災拠点誘致との関係で、前市長答弁を引き継ぐ考えはあるか伺う 大綱 4 大雨時の車の避難場所確保について (1) 要望にすぐ答えてほしいという声があるが対応について伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
16	25	後藤錦信	大綱 5 道路から落下事故のあった危険な側溝への手当てについて (1) 緊急対応に心がけているのか伺う 大綱 1 選挙公約と施政方針について (1) 20周年を迎えた本市の現状をどう捉えているか (2) 行政運営の基本理念について ア 職員との連携や具体的な組織運営について イ 『心』を開いて語り合う『心をつなぐ』市政運営の具現化について (3) 『人をそだてる』施策としての『大崎未来塾』の具現化について (4) 感性を磨く体験学習，ふるさと学習，食と農を学ぶ学習等一人一人の学ぶ意欲を高める学習環境の充実の具現化について
17	23	木村和彦	大綱 2 第3次大崎市総合計画の策定について (1) 市長公約は計画にどう反映されるのか (2) 策定には職員の思いや声が反映される工夫はなされているか 大綱 1 少子化対策と子育て支援の方向性について (1) 保育料，給食費，多子世帯支援等，子育て支援の優先順位の考えについて (2) 4年間の重点施策について 大綱 2 敬老事業について (1) 敬老祝い金等，今後の見直しの時期と基準について (2) 今年度の方針について (3) 助成金の算定基準について 大綱 3 公共施設の使用料金について (1) 活動状況と使用料の状況について (2) 社会教育団体や地域活動組織の使用料の減免について (3) 減免しない場合の活動団体に助成金の考え方について 大綱 4 高齢者世帯の冷房設備助成について (1) 2027年予定の法律改定でエアコンが急騰している。今年も猛暑が予見されるが，エアコンの買換え，設置に対する助成の考え方について
18	19	山口壽	大綱 1 大崎市合併20年これからの農業振興について (1) 水田農業の推進・確立について ア 農業従事者の高齢化対策について伺う イ 不在地主の耕作放棄地対策について伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
19	22	八木吉夫	ウ 大崎市の補助事業への取組について伺う 大綱 2 大崎市合併20年これからの道路整備について (1) 幹線道路の在り方と生活道路の取組について ア 渋滞緩和される道路整備を考えているのか伺う イ 市民生活に支障のない道路整備を行なっているのか伺う 大綱 1 施政方針について (1) 大崎未来塾の内容と、開設時期について伺う (2) 持続可能な財政構造への転換とは、具体的にはどのようなことなのか伺う (3) 地域公共交通について、古川東部エリアの交通弱者支援について伺う (4) 環境対策のゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーとの関連づけについて伺う (5) 産業振興計画の策定に当たり、地域の稼ぐ力を高めるとは具体的にどのようなことなのか伺う 大綱 2 人口減少と少子高齢化対策について (1) 子どもを産み育てやすい大崎をつくるため、結婚、婚活をより支援してくれるサポーター（仲人）制度が必要と考えるが、所見を伺う (2) 高齢者の認知症予防のため、補聴器の購入補助制度の実現が必要と考えるが、所見を伺う
20	13	小玉仁志	大綱 1 新たな大崎市産業政策の方向性について (1) 市長公約「産業を育てる」の定義とは何か (2) 政府が掲げる「強い経済」を実現する上で地方創生にあたる「稼げる地方経済」をどのように解釈しているか ア 本市はどのような分野でより付加価値を創出し、地域経済の基礎を築けると考えているか 1) 実現するための投資戦略について伺う (3) 既存産業の現状と支援体制をどのように見ているか ア 中小企業支援の仕組みと実績の評価について伺う 1) 経済の見通しが不安定な今、必要な支援について地域からどのような声が届いているか。また今後必要な支援策は何と考えるか (4) 新産業創出の考え方について ア 挑戦が生まれ続けるまちにするための具体的な戦略について伺う
21	20	早坂憂	大綱 1 世界農業遺産「大崎耕土」の活用について (1) 世界農業遺産認定のメリットについては、まだまだ市民に浸透せず、理解も得られているとは言えない。世界農業遺産の価値浸透に向けた新たな具体策について所見を伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
22	11	鎌内克美	(2) 市民にメリットを感じてもらえるような新たな仕組みとして、世界農業遺産と家計応援や市民参画を掛け合わせた地域貢献ポイント制度について所見を伺う
			(3) 企業誘致を進める上でも、世界農業遺産認定の地という価値を売り込むことはもちろん欠かせない視点である。世界農業遺産と交通拠点を掛け合わせた戦略的企業誘致について所見を伺う
			大綱2 不登校対策と人材育成について
			(1) 大崎市独自によるフリースクール等施設利用費の助成制度創設について所見を伺う
			(2) 送迎が難しい家庭に対し、施設に通う際に利用したタクシー代への補助について所見を伺う
			(3) 行政として親の会を実施する考えはないか、所見を伺う
			大綱3 診療報酬・介護報酬同時改定について
			(1) 2026年6月の改定による市内事業所への影響をどのように分析、把握しているかを伺う
			(2) 国への煩雑な申請やICT導入、連携のハブをサポートする市独自の介護事務支援アドバイザーの派遣及び事務負担軽減補助についての所見を伺う
			(3) 古川地域から山間部など、長距離移動を強いられる訪問に特化した、市独自の燃料費・移動コスト上乗せ補助について、所見を伺う
			大綱1 さくら保育園の建て替えについて
			(1) さくら保育園の建て替えの見通しについて
			大綱2 子どものインフルエンザワクチン予防接種無料化について
			(1) インフルエンザワクチン接種の必要性について
23	9	菅原智宏	(2) 経済的負担の軽減について
			(3) 家庭内や集団生活での感染防止対策について
			大綱3 身元保証制度の実現に向けて
			(1) 身元保証制度の必要性について
			(2) 国が進める身寄りのない高齢者支援の新事業について
			(3) 大崎市が進める高齢者支援の構築について
			大綱1 未来ある農産業への取組について
			(1) 次世代の農業者への支援について
			ア 担い手確保に向けた取組について、現在の状況と今後の拡充の考えについて伺う
			(2) スマート農業の推進について
			ア スマート農業について、本市の導入状況と、今後の支援拡大の方針について伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
24	17	山口文博	(3) 農業用ドローンの支援拡大について ア ドローン購入補助，資格取得支援，地域での共同利用の仕組みづくりなど，今後の支援拡大の考えについて伺う
			(4) 農産物のブランド化と販路拡大について ア 「大崎ブランド認証制度」の創設や，統一パッケージの作成，首都圏への販路拡大，ふるさと納税の活用など，大崎産農産物の価値向上について，今後どのように取り組んでいくのか伺う イ SNSや動画などを活用した情報発信や，インターネット販売の支援についての考えを伺う
			大綱2 動物愛護と地域犬猫活動の推進について (1) 保護団体の負担軽減や地域猫活動への理解促進，高齢者の飼育問題への対応，子どもたちへの動物愛護教育などの課題をどのように捉え，今後どのように進めていくか市の考えを伺う
			大綱3 高校生の通学支援の充実について (1) 子育て支援及び人口減少対策の観点から，高校生を対象とした通学定期券代の補助制度を創設する考えはないか伺う (2) 三本木地域から松山地域や古川地域などへの通学実態を調査し，高校生が利用しやすい通学バスやデマンド交通の導入，既存路線の見直しについて検討すべきと考えるが，市の見解を伺う
			大綱1 大崎市が抱える農業の現状と課題について (1) 農地の集積・集約と遊休農地の解消について ア 大崎管内の農地面積は18,300ヘクタール規模だが，農業法人・集落営農組織や認定農業者への集積面積11,785ヘクタール，集積率64.4%の理由を伺う イ 条件が不利な農地(開田等)と圃場整備農地との集積率の違いを伺う ウ 圃場整備の現状と将来計画・施工について伺う
			(2) 高齢化と担い手不足について ア 農業就農者の現状(畜産も含める)について伺う イ 生産者の後継者・担い手不足について伺う ウ 認定新規就農者の経営体数や持続年数について伺う エ 新規就農総合支援事業や農業イノベーション総合支援事業への補助金・交付金の加算について伺う
			(3) 営農収益力強化と作付転換について ア 水田収益力強化ビジョンの実績と継続について伺う イ 燃料・資材や農業機械等の価格高騰による影響について伺う ウ 米価の乱高下による生産者の経営管理リスクについて伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
25	7	高橋雅博	(4) 省力化とスマート農業と環境配慮について
			ア 機械化一貫体系やアグリテック導入による省力化，高度な環境制御技術の導入，環境負担低減について伺う
			イ 補助事業などによる持続的な生産体制構築について伺う
			(5) 農業集落と農業文化・農村景観の継続について
			ア 将来，農家の減少による集落の継続が困難になりうる現状について伺う
			イ 農業者の減少による農地・農業施設や集落景観等の荒廃について伺う
			ウ 農業集落の人口減少による，地区の行事や共同作業などの文化が維持しにくくなる懸念について伺う
			大綱 1 「未来につなげる大崎をみんなで育てていく」中島市長の掲げる施政方針について
			(1) 大崎未来塾の開設について
			ア 基本理念について所見を伺う
			イ 開設に向けた検討の進め方について所見を伺う
			ウ 「行政とそれぞれの地域や組織をつないで，多様な機会において「人を育てる」取組を推進してまいります。」とあるが，その手法について所見を伺う
			(2) 有害鳥獣対策について
			ア 大崎市ジビエ食肉処理加工等施設稼働後の効果と課題について伺う
			イ ジビエの郷づくり事業について，これまでの大崎ジビエのブランド化や販路拡大等の取組について，また，今後のジビエの食文化の定着と地域の活性化について伺う
26	4	川合明弘	(3) 第3次大崎市産業振興計画の策定について
			ア これまでの取組に対する評価・検証の手法について所見を伺う
			イ 「第3次総合計画の方向性を踏まえ，多方面から意見を聴取しながら，本市の強みを活かし，地域の「稼ぐ力」を高めるべく，取り組んでまいります。」とあるが，現状における本市の強みと地域の「稼ぐ力」について所見を伺う。
			大綱 1 部活動地域展開推進事業について
			(1) 令和8年度から休日の部活動は実施せず，地域クラブ活動へ移行し，各スポーツ・文化関係団体，学校保護者等と連携しながら，地域展開しているが，その現況について所見を伺う
			(2) 部活動地域展開推進事業について，保護者や児童生徒への詳しい制度や中身の理解は進んでいないと考えるが，現状と今後の展開について所見を伺う
			(3) 地域クラブの指導者は，各競技（活動）種目，団体運営に必要な公的資格，もしくは指導経験が必要であり，子どもたちの健全育成に努めることが原則となるが，指導者の資格要件や研修体制について所見を伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
			大綱 2 北朝鮮による日本人拉致問題に対する本市の対応について (1) 北朝鮮人権侵害問題啓発週間における本市の対応について所見を伺う (2) 小中学校における教育での北朝鮮による日本人拉致問題の取扱い内容について所見を伺う